

「見方・考え方」を生かした授業づくりの工夫 ～小学校生活科～

第2学年単元名 うごくおもちゃけんきゅうじょ(第8/15時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

遊びや遊びに使う物を工夫してつくる。(思考力、判断力、表現力等の基礎)

こんな授業になっていませんか？

【教師の発問】

今日は、おもちゃづくりの続きをするので、工夫して作りましょう。

とても楽しそうに遊んでいて活動的だから、きっといろいろ学んでいるぞ。

分からないときには、ひみつを教えてあげよう。

思いや願いが膨らまないままおもちゃづくりの活動に入っているため、思いや願いの実現に向けて児童が夢中になって取り組むことができなくなっています。また、その子なりの気づきを表現し合う機会がないため、気づきの質が高まりにくくなっています。

【児童の反応】

もうつくり終わったから、やることがないな…。工夫ってどうしよう。

おもちゃづくりは終わっているし、じゃあ、飾り付けをしようかな。

友達に聞くより先生に聞いた方が早いから、先生に聞こう。

何だか今日は、いっぱい遊べて楽しかったな！

「見方・考え方」を生かす意識をフラス！

「身近な生活に関わる見方・考え方」とは

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする事。

*見方・考え方を生かしとは、生活科の学習過程において、児童自身が既に有している見方・考え方を発揮するという事であり、また、その学習過程において、見方・考え方が確かになり、一層活用されることを示している。他教科等と異なり、「見方・考え方を働かせ」とせず「生かし」としているのは、幼児期における未分化な学習との接続という観点からである。

「小学校学習指導要領(H29)解説 生活編」より

児童が「見方・考え方」を生かす*ためには

試行錯誤や繰り返す活動を設定し、伝え合い交流する場を工夫し、振り返り表現する機会を設け、児童の多様性を生かすことが大切です。

生活科は、自分の思いや願いをもつことから始まる教科です。そのための具体的な活動や体験を行う中で、身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする生活科固有の学習が行われるようにすることが大切です。そのためには、思いや願いを実現する体験活動を充実させるだけでなく、表現活動を工夫し、体験活動と表現活動とが豊かに行き来する相互作用を意識することも大切です。低学年らしいみずみずしい感性により感じ取られたことを、自分自身の実感の伴った言葉にして表したり、様々な事象と関連付けて捉えようとしたりすることを助けるような教師の関わりを実現していくことも重要です。

授業を こう変える！

- ・自分の思いや願いがさらに膨らむような導入を工夫することで、おもちゃをよりよく動かしたいという意欲を高める。…**1**
- ・活動時間を確保することで、自分のおもちゃに自分なりの発想でじっくり関わったり繰り返し試したりできるようにする。…**2**
- ・おもちゃの改良に向けた一人一人の多様な思いや気づきを見取り、伝え合い交流する場を工夫することで、新たな活動や行動の筋道を作り出せるようにする。…**3**
- ・おもちゃの改良を振り返り、表現する機会を設けることで、無自覚だった気づきが自覚的な気づきとなるようにする。…**4**

このような授業にしていきたいと思います！

【自分の思いや願いがさらに膨らむような導入の工夫】…1



それぞれが作りたいたおもちゃができてきましたね。前回、さくらさんがつくった紙コップロケットを見たら、すごく高く飛んでいましたよ。みんなに見せてもらってもいいかな？

すごい！ぼくと同じおもちゃなのに、どうしたらそんなに高く飛ぶのかな。ぼくも、もっと高く飛ばしたいな。



わたしのつくった車もすごく速く走ったけど、この前よりももっと速く走らせたいな。

【活動時間の確保】…2



今日は、みんながつくったおもちゃがもっとよく動くひみつを見つけて、おもちゃを改良していきたいと思います。

きっと、力いっぱい紙コップを押せば高く飛ぶぞ。



あっ！自転車に乗ったとき、坂道を速く走れたから、坂道で試してみようかな。

あれ？何回やっても高く飛ばない…。紙コップを交換してみようかな。



坂道をすごく急にすると速く走るみたいだけど、すぐに終わっちゃって面白くない。

紙コップを換えたのに、あまり変わらないぞ…どうしてだろう？

〈児童の姿〉
「もっとこうしたい」という思いや願いの実現のために、自分なりの発想でおもちゃとじっくり関わったり、何度も繰り返し試したりしています。

【児童の多様性を見取り、伝え合い交流する場の工夫】…3

はなこさんに聞いてみたらどうかな？



かずやさんの坂道は、ちょうどよく走っていたよ。やらせてもらったら？

ゴムがきついから、ここをグーッと強く押してから離すんだよ。やってみる？

ぼくが作った坂道でやってみていいよ。



あれ？はなこさんののは、ぼくのよりゴムがきつい。あっ！ゴムが2本になってる！ゴムを増やすと飛ぶんだ！



これくらいの坂だと車も速く走るし、面白い！

るりさん、坂道で車を走らせているんだ。面白そうだな。ぼくも、紙コップロケットができれば遊び方を考えてみようかな？

〈児童の姿〉
一人一人の違いを見取り、互いに関わり合うような状況を意図的につくることで、比べたり試したりすることを通して新たな気づきが生まれています。

【振り返り表現する機会の設定】…4



今日の活動で、おもちゃがもっとよく動くための、いろいろなひみつを見つけたみたいだけど、教えてくれるかな？

ゴムを2本にしたら、紙コップがこの前よりも高く飛びました。ゴムが強くなったんだと思います。



坂道では、最初は車のスピードが遅いけれど、だんだん速くなりました。

〈児童の姿〉
活動を振り返り、自分なりに感じたことを教師や友達に伝えることで、気づきを自覚しています。

ほかの学習場面で「見方・考え方」を生かしている例

つくったおもちゃで友達と遊ぶ活動の場面（第11時）で



つくったおもちゃでもっと楽しく遊べるように、遊び方を考えてみましょう。



この線まで飛んだら3点、この線まで飛んだら5点のルールにして勝負しよう！



今度は、1年生と一緒に遊んでみたいな。

〈児童の姿〉
つくったおもちゃの遊びの面白さに気付いたり、誰かに伝えたいという思いが芽生えたりしています。